

魂に響く写真のチカラ

世界報道写真展 2011



世界報道写真大賞

ジョディ・ゼーバー

【6月アフリカ、インスタント・フォーブート(スーパーストロボ) / アフリカ・ザンベジ川流域の洪水被害】
アフリカ東部のジンバブエは、暴力をふるう大の元から実家へ逃げ戻ったが、反政府武装勢力の襲撃によって、「逃亡の罪」で刑を宣告された。命をとりかきながら、その苦しみと死を恐るる姿を捉えた写真は、その苦しみと死を恐るる姿を捉えた。

2011.6.11sat - 8.7sun 東京都写真美術館 地下1階展示室

開館時間：10:00～18:00(土、日は20:00まで)入館は開館の30分まで ※最新の開催情報はお問い合わせください 休館日：毎週月曜日(ただし7月18日は開館、8月1日は休館)

観覧料：一般 700(560)円 / 学生 600(480)円 / 中学生・65歳以上 400(320)円、小学生以下無料 ※()は20名以上の団体割引料金

主催：世界報道写真財団、朝日新聞社 共催：東京都写真美術館 後援：ナランタ王國大使館、公益社団法人日本写真協会、公益社団法人日本写真家協会

協賛：キヤノンマーケティングジャパン株式会社、アイエヌティエス株式会社、お問い合わせ：東京都写真美術館 TEL:03-3280-0099

WORLD PRESS PHOTO 11

世界報道写真展

WORLD PRESS PHOTO 11

東日本大震災により被災されたみなさまに心からお見舞いを申し上げます。

ハイチでの大震災、タイ・バンコクでの武力衝突、ワールドカップの熱狂――。

このほかにも2010年の世界では、私たち人間の営みによってもたらされた知られざる悲劇や思いもかけない自然の力を見せつけられる出来事が数多くありました。

世界報道写真展2011では、今年も10万8千点を超える作品を応募した約5700人の写真家の中から56人が入賞を果たしました。

3月に起きた東日本大震災の被災地でも、世界中から集まった写真家たちがその災害の大きさを記録し続けています。

展示室では、その一部をスライドショーによって見るすることができます。



「スポーツニュース」の部 総写真2位
コランタン・フォーレン
(フランス、フェデファ)
タイ、バンコクの反政府暴動
(~3月)



「一般ニュース」の部 総写真1位
オリヴィエ・ラバシマ・マッティ
(フランス、AFP通信)
地震後のハイチで死体を放り捨てる男性
(~1月13日)



「ニュースの中の人々」の部 総写真1位
ダニエル・ベレフラク
(オーストラリア、ゲットイメージズ)
パキスタンで食糧物資を得ようとする洪水の被災者たち
(~9月13日、パキスタン、AFP)



「スポーツ」の部 総写真1位
アダム・プリティ
(オーストラリア、ゲットイメージズ)
シンガポールで開催されたニュースオリンピックの一場面
(~6月22日、シンガポール、シンガポールプレス)



「現代社会の問題」の部 単写真2位
エド・カシ
(アメリカ、マイケル・オズワルド)
オレンジ郡(結核菌)の後遺症を患うベトナムの少女
グエン・チー・リー(9歳)



「日常生活」の部 総写真1位
マルティン・ルーメルス
(オランダ、ハンス・ビヤンネーズ)
トロロリス



「アート&エンタテインメント」の部 単写真2位
ダヴィデ・モンテレオーネ
(イタリア、コントラスト)
ミラノのファッションウィーク2日、
ヴェルディオペラ・ハウスのショー



「アート&エンタテインメント」の部 総写真2位
ダニエラ・タマーニ
(イタリア)
チャリタと呼ばれるボリビアの女性レスラーたち
(~6月20日)



「自然」の部 単写真2位
ラインハルト・ディルシュール
(ドイツ)
メキシコのユカタン半島沖で
イワシを獲るニシンのショウカジキ

関連
イベント

6.11(土) 14:00~15:30

東京都写真美術館 2階ラウンジ

7.16(土)~18(月祝)

東京都写真美術館 1階アトリエ

7.22日(金) 10:00~16:30

東京都写真美術館 1階アトリエ

日程未定

東京都写真美術館 2階ラウンジ

開幕記念講演「写真家 大石芳野氏が語る写真への思い」

入場無料、開場:13時30分、先着順、自由席、どなたでも参加できますが、席数には限りがございます。

第4回 写美フォトドキュメンタリー・ワークショップ(主催 東京都写真美術館/朝日新聞社)

事前申込制、有料、詳細はwww.syabi.com フォトジャーナリズム、フォトドキュメンタリーの現場を学ぶ3日間のプログラム

講師:Qサカマキ(写真家、アメリカ在住)、井山健樹(AERAフォトエディター)

小中学生を対象とした報道カメラマン1日体験

定員:15人、事前申し込み制、参加費1500円、申し込みは任意ですが〒104-8011東京都中央区築地5-2朝日新聞社文化事業部

「1日報道カメラマン」まで、締め切り7月13日 問い合わせ:03-5540-7450

講演「東日本大震災から3カ月、被災地を見た写真家が未曾有の震災を振り返る」

入場無料、先着順、自由席、どなたでも参加できますが、席数には限りがございます。

(日程はお問い合わせください、決まり次第ホームページでもお知らせいたします)